

## 1 担任・授業担当教員紹介

tetoru にて、ご確認ください。

## 2 6年生 学年目標

### ◆PRIDE◆

- 最高学年としての意識をもち、学校の中心となって活躍できる子
  - 現状に満足することなく、次の一步を踏み出すことができる子
  - 何事にも進んで参加し、自分を高めることができる子
- 「最高学年として」「末広の一員として」の誇りをもてるように、一年を過ごしてほしい、という願いを込め、学年目標を「PRIDE」としました。

## 3 6年生として、すばらしい1年にするために

○子ども同士の望ましい人間関係をつくるために

- グループ活動を通して、**お互いの良いところを認め合える関係**をつくります。
- 協力することの楽しさ、すばらしさを感じられる人間関係をつくります。
- いじめや問題行動の早期発見、早期解決を図ります。

○明るく活気ある学年にするために

- 教室内に自分の**居場所**が感じられるよう、あたたかい雰囲気づくりをしていきます。
- 子ども同士や・教師との心の結びつきを確かなものにし、「やる気」を大切にしていきます。
- **どんなことにも挑戦してみよう**、という意欲をもたせます。
- **失敗をおそれず、次の成功へのステップ!**という気持ちをもたせます。

○心豊かな子を育てるために

- 相手の気持ちを考えた言葉かけや行動がとれるようにします。
- 努力することに**喜び**を感じさせていくようにします。



## 4 学習面について

- 「わかる・できる・身につく授業」を目指した授業を展開していきます。
- 落ち着いた態度で話をしっかり聞き、自分の考えをはっきり発表できるようにします。
- ドリル学習や反復練習（音読、漢字、計算、読書など）を大切にしていきます。
- 自分から進んで学習する態度を育成します。（家庭学習の習慣の確立）  
※家庭学習 … 10分×学年 + 10分（6年生は70分が目安）
- タブレット端末（Chromebook）を活用した授業づくりを進めていきます。



## 5 生活面について

- ・基本的な生活習慣を確立させ、きまりをしっかり守って行動できるようにします。
- ・笑顔で元気なあいさつができるようにします。(おはようございます・さようなら・こんにちは)
- ・食育に関心を持ち、偏食なく食べる努力をします。
- ・いじめや問題行動の早期発見、早期解決を図ります。
- ・情報端末の正しい使い方を指導していきます。
- ・自転車に乗るときは、必ずヘルメットを着用しているか。
- ・道路を横断するときは、左右を確認しているか。「飛び出し」はしていないか。
- ・危険な遊びをしていないか、また、危険な場所へ行っていないか。(火遊びなど)
- ・お金の使い方については、各家庭で約束事項が決まっているか。
- ・外出するとき、遊びに行くときは、行き先や帰宅時間、誰と遊ぶかなどを知らせているか。



## 6 学習用具の精選 (以下の点を、ご家庭でも確認してください。)

- ・トラブルを防止するために、**全ての物に記名**をさせていただきます。(毎年、名前の書いてない落とし物がたくさんあります)
- ・学校へ持って行く学習用具は、必要な物だけにしてください。  
(高学年になるにつれ、不要物を持ってくる児童も増えてくる傾向があります)
- ・自分自身も周りの子ども授業に集中できるよう、学校ではシンプルな文房具の使用を推奨しています。

## 7 行事について

### ①春の校外学習

- ・日時：4月30日(水) 予備日：5月9日(金) 両日ともお弁当の準備をお願いします。
- ・場所：学校でペア遊び → 柳下公園
- ・その他：1年生と6年生のなかよし遠足となります。 ※詳しい日程や持ち物などは、後日お知らせします。

### ②修学旅行

- ・日時：10月29日(水) ~ 10月30日(木) (1泊2日)
- ・場所：京都・奈良方面
- ・日程：現在検討中 ※詳しい日程や持ち物などは、後日お知らせします。

### ③卒業式

- ・日時：令和8年3月19日(木) (予定)
- ・服装：男女ともに卒業式に相応しく、落ち着いた簡素な服装が望ましいです。例年、全国的に女子の袴姿が増えてきている傾向にあります。華やかな装いである一方、朝早くの着付けによる寝不足で体調を崩したり、歩きにくく着崩れをしてしまったりと、人生の晴れの日に不都合を起こしてしまう場合も少なくありません。こういった可能性も考慮しつつ、卒業式の服装についてはご家庭でもよく話し合ってくださいよう、よろしくお願いします。

## 8 最後に…「何でも気軽に話してください」

こんなこと学校や先生に言ったら失礼かな・・・、と悩まず、何でも気軽にお話してください。子どもたちの話は、時折ある面では正解でも、とらえ方が違っていたり、早呑み込みで、冗談やうわさを信じ込んでいたりすることもあります。

「ほんとにそうかしら？」と思われることなどもお話してください。

安心して楽しく子ども達が学校に通えるよう、私たちも全力でがんばります。心配なことや、お困りのことがありましたら一緒に考えながら子どもを育てていきたいと思っております。よろしくお願いします。